

7/12 自治会避難誘導で 命助かる(真木区)



7月12日未明、前日から集中豪雨で自川、平川、矢護川の氾濫、土石流などで甚大な被害となりました。議会も大岡黒議長を先頭に12日午後被災地の視察を行いました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。行政と力を合わせ一刻も早い復旧に努めます。

議会広報編集特別委員会研修報告

研修先 大分県速見郡日出町、玖珠郡九重町
期日 7月4日、5日
研修テーマ 議会広報編集について

日出町

人口 約2万8200人
面積 73km²

日出町の議会報は、88号を数える。全国広報クリニクでの酷評に発奮して、改善に努力されている。「議会だより」の題字は、毎回町内小中学生徒の手書き。「文字が多すぎる」ところが改善され、見出しもわかりやすくまとめられ、毎回「町民の声」を半ページ使って掲載している。発行・費用 1万部 252万円 随意契約のためか大津町に比較して高い。

九重町

人口 約1万600人
面積 271km²

大つり橋で有名な町、観光と農業の町だが、年々人口減少に悩んでいる。

広報委員会5、7回開いて努力され、非常によくできている。夜間議会が毎年行われ、夕方5時〜9時過ぎまで一般質問を実施。年2回の「おでかけ議会」を議員が半分に分かれて、4ヶ所で開催。参加者の意見など、アンケート集約して特集号を発行。

町内95%にケーブルテレビが引かれ録画を放映している。

議会改革に非常に熱心に取り組まれ、全議員から「すぐにすべきこと」「中長期で改善すべきこと」を出し合ってお出かけ議会を具体化したことは、大いに参考にするべきではないか。

(文責 委員長荒木)

編集後記

7月12日早朝『これまでに経験したことのない大雨』という表現が初めて使われた大雨により、阿蘇地域をはじめ熊本県内は甚大な被害に見舞われました。昭和28年の6・26水害を思い出しました。自然災害の恐ろしさ

と防災対策を改めて考えさせられました。我が町では死者、行方不明者を一人も出さずに済みました。

地域の人達の素早い避難誘導、防災無線の放送の大切さが再認識させられました。『災害は忘れた頃やってくる。』という事である。(源川)

議会広報編集特別委員会

委員長
荒木 俊彦

副委員長
金田 俊二

委員
吉永 弘則
源川 貞夫
府内 隆博

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。